

令和6年度

第8回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和6年7月26日(金)  
開会13時20分 閉会13時45分

場 所 教育委員室

令和6年度  
第8回大分県教育委員会

**【議 事】**

- ( 1 ) 報 告  
進路ガイダンスについて
  
- ( 2 ) 協 議  
令和7年度海事職採用選考の実施について

## 【内 容】

### 1 出席者

<b>委 員</b>	教育長	山 田 雅 文
	委 員（教育長職務代理者）	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 恵 代
	委 員	岩 武 茂 代
	委 員	岡 田 豊 弘
<b>事務局</b>	教育次長	大 和 孝 司
	教育次長	山 田 誠 司
	教育次長	武 野 太 平
	教育改革・企画課長	鈴 木 耕 平
	教育人事課長	吉 雄 幸 平
	高校教育課長	小 野 和 正
	教育改革・企画課 総務企画監	角 淵 達 彦
	教育改革・企画課 課長補佐（総括）	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	久 知 良 周 平
	教育改革・企画課 主査	穴 見 ひ と み

### 2 傍聴人

1 名

## 開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

まず、はじめに、7月22日付けで、教育委員に再任されました、岩武 茂代(いわたけ しげよ)委員から、一言ご挨拶をいただきたいと思います。

(岩武委員)

この度、2期目ということで、教育委員をまた継続させていただくことになりました。大変微力ではございますが、大分県の教育のために、しっかりと頑張っ  
てまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(山田教育長)

ただ今から令和6年度第8回教育委員会会議を開催します。

## 署名委員指名

(山田教育長)

議事録の署名については、鈴木委員にお願いします。

## 会期の決定

(山田教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。

会議の終了は13時40分を予定していますので、よろしく願いします。

## 議 事

(山田教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっていますが、協議第1号は人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

採 決 (全員挙手)

(山田教育長)

協議第1号は非公開といたします。

## 【報告】

### 進路ガイダンスについて

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(山田教育長)

まず、報告第1号「進路ガイダンスについて」高校教育課長から説明をしてください。

(小野高校教育課長)

「進路ガイダンスについて」報告します。

1ページをご覧ください。この取組については、地域の県立高校の特色・魅力や専門学科の学習環境について情報発信するため、令和2年度から中学校の教員を対象の高校説明会として実施しているものです。令和6年度からは、早期からのキャリア教育を見据え、小学校教職員も対象に加え、地元小・中学校教職員(特に学級担任など若手教職員)を対象とした高校説明会を実施します。

生徒数の減少が加速する中、まずは地元中学生に選ばれる魅力ある学校づくりを進めているところですが、特に中学校の教員に地元にある高校の特色ある学びを深く知っていただくことが必要と考えています。

中学校の教員には、得た情報によって、生徒の希望や適性に応じた高校選びにつなげることを期待しています。小学校の教員には、早い段階で高校での学びや地域の産業、その担い手育成について理解してもらい、早期からのキャリア教育につなげることを期待しています。また、高校側はこういった発信を行うことで、特に中学生に向けたメッセージを打ち出すため、さらなる学校の魅力づくりを推進していくことにつなげていきたいと考えています。

内容については3本立てで取組んでおり、1点目は学科の特色や進路状況を踏まえた学校概要の説明、2点目は特色ある授業体験や少人数での個別相談会、3点目は会場校の施設見学としています。中学校は普通科出身の教員が多いと聞いていますので、実際に工業科や農業科等の施設を見てもらい、各高校での学びを知ってもらいたいと考えています。

対象地域については、地元中学校からの進学率、地域の生徒数などを勘案し、特に県立高校のPRが必要な地域である10の市町で実施します。実施会場については資料下部に掲載していますが、専門学科のある高校を会場校とし、他の参加校も会場校で説明等を行う形としています。

2ページ目をご覧ください。昨年度の実施の様子を掲載しています。写真の上側が津久見高校で実施した機械の体験授業を受けている様子、下側は日田林工高校で林業科及び工業科の施設見学を行っている様子です。

参加者の声では、実際に中学校から送り出した生徒が高校で何を学んで、どういう進路を進んでいくのかということがよくわかったという感想があり、下から2つ目にあるように、中学校と高校の垣根を越えた交流にもつながっています。また、小学校の時から将来について考えさせておく必要があるという意見等を踏まえ、令和6年度から小学校教職員にも対象を拡げています。

以上で報告を終わります。

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(高橋委員)

よい取組だと思います。実業系の高校に関してお聞きしたいのですが、例えば津久見高校や大分東高校などで、経済の循環を教える意味で掘り下げていけますか。商いをやる上で、仕入れから販売に至るまでの体験をさせてあげられるような仕組みはありますか。それとも高校の大まかな概要説明になるのでしょうか。

(小野高校教育課長)

例えば宇佐産業科学高校では、生徒が実際に加工したのを見たり、場合によっては購入したり、実際に栽培から加工、流通までの過程も見ることが可能です。

(高橋委員)

なるほど。できればもっと掘り下げて、実際の商売をしている方も呼び、一緒にしてもらったほうが生徒のビジョンに対しての現実味も湧くと思います。高校を卒業して、働く生徒もいると思いますので、そういうところはもう少し掘り下げてやっていただくとよいと思います。

(山田教育長)

他にありませんでしょうか。

(岡田委員)

この取組は令和2年度から開始して、令和6年度からは小学校教職員も対象に加えるということですが、実際にこの取組によって、生徒の希望や適性に合った高校選びにつながったケースがあれば教えてください。

(小野高校教育課長)

具体的にこの取組によってということは、はっきりとは見えていませんが、参加された先生からは、中学校の三者面談の時に具体的な話ができたという声や、保護者の方にも自分が体験したことを自分の言葉で伝えることができたという声はいただいていますので、中学生の皆さんにも伝わっていると思っています。

(山田教育長)

他にありますでしょうか。

(岩崎委員)

大変素晴らしいことだと思いますが、実際に中学校の教員の方がどれくらい参加されましたか。

(小野高校教育課長)

令和5年度については、会場は変わりませんが、総勢129名の参加者がありました。その前年の令和4年度については、155名の参加がありました。コロナ禍では来場できなかった方もいるため、しっかり募集をして、参加してもらいたいと考えているところです。

(岩崎委員)

中学校の先生の数で言うと、大体各学校から何名くらい参加していますか。

(小野高校教育課長)

イメージとしては、学年の担任等の皆さんに来ていただきたいという思いがありますが、実際のところは各学校から2、3名といったところです。

(岩崎委員)

令和6年度から小学校の教職員が参加できるようになったということですが、小学校はどの程度の校数が参加しているのか、あるいは教職員がどれくらい参加しているのか把握していますか。

(小野高校教育課長)

中学校の先生方を対象にアナウンスしていましたが、ある市から小学校の先生方も是非対象に加えてほしいという声があり、今回声かけ自体を初めて行うため、参加者についてはこれからというところです。

(山田教育長)

他にありますでしょうか。

(鈴木委員)

校種が異なると、どうしても先生たちのやりとりがなくなってしまうと思います。中学校の先生は、実際に受験の時期になって、はじめて高校のことを知ったり、子どもたちが家庭や学校で調べたこと知ったりすることがあるため、実は知らないこともとても多いと思っています。地域の学校を今回対象にされていますが、県立高校であれば広く見られるように、自由に見てくださいというような形をとっていただくとありがたいです。

自分の子どもの進学の時もそうでしたが、進学をしたいといってもその学校のことを全く知らず、先生も知らないで、その学校に進学させてもよいのかという不安がありました。その時は自分で見学に行きましたが、誰かが見学等に行き、その経験を中学校に還元して、大丈夫だ、行っても不安はないよと伝えて、その後から生徒が続いていくということも起き得るため、是非発信という面でもそれぞれの高校でやっていただいて、開かれた学校であってほしいと思っています。

地域の学校は当然力を入れていかなければいけません、どの学校でもいつでも受け入れられるようにしていただけると、ありがたく思います。

(小野高校教育課長)

この取組の趣旨は、地元にある高校を知っていただくということで開始したものではありませんが、今いただいたご意見のとおり、地域の学校以外にもたくさん県立高校があります。大分市内であっても学校の特性・特色をしっかりと理解・定着させたいと思いますので、また検討したいと思います。

(岩武委員)

鈴木委員の意見とも関連すると思いますが、これは地域の学校にしっかり生徒を行かせたいという意図で、あえて別府・大分を外して実施をしていると思いますが、私は別府・大分もやってよいと思います。というのも、全部の話を聞いたときに、大分市にある高校よりも地域の高校の方がしっかりしているということも当然考えられます。あえて別府や大分を外すのではなく平等に知ってほしいと、それから鈴木委員からも意見があったように、いつでもどうぞというような雰囲気もつくり、全部を聞いた上でやっぱり国東に行こう、安心院に行こうと思わないと。それが本当のキャリア教育のような気がします。

(小野高校教育課長)

本質としては、例えば農業をしたい生徒や、工業を本当にやりたくて高校に入るという生徒を、中学校から迎え入れたいと考えていますので、地域にある学校のことや、学科の学びをしっかりと伝えられるようにしていきたいと思っています。

(山田教育長)

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

(山田教育長)

先に非公開と決定しました議事を行います、その前に、公開でその他、何かありますか。

(山田教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。



## 【協 議】

### 令和7年度海事職採用選考の実施について

( 2 課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室 )

( 山田教育長 )

それでは、協議第 1 号「令和 7 年度海事職採用選考の実施について」提案しますので、教育人事課長から説明をしてください。

( 説明 )

( 山田教育長 )

ご質問・ご意見はありませんか。

( 質問・意見 )

( 山田教育長 )

他に何かありますか。

それでは、今回の協議の結果を踏まえ、準備を進めてまいります。

( 山田教育長 )

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和 6 年度第 8 回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。